

東京港における植物の輸入状況（平成 28 年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、平成 28 年も 19 年連続で国内最多のコンテナ貨物を取扱い、国民生活と産業活動を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

平成 28 年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 197.4 万ト（前年比 104.8%）と 3 年連続減少となった 27 年に対し増加に転じた。輸入植物の生産国は 104 の国と地域に及び、重量ベースでみると、全体ではアメリカが第一位で約 40.4%を占めている。

栽植用植物：前年比 103.5%と増加した。草花類や樹木類など、6 カ国から 1,013 千個が輸入された。主な増加品目はベトナム、中国、タイから輸入された草花類のファレノプシス属（コチョウラン）苗で、年間通じて定期的に輸入され、全体の 7 割以上を占めている。

栽植用球根：前年比 106.2%と増加した。主な種類は、ユリ 1,939 万球（前年比 103.2%）、チューリップ 145 万球（同 103.5%）、スイセン 100 万球（同 100.0%）であった。7 カ国から輸入され、オランダ産が 6 割以上を占めている。

栽植用種子：前年比 75.5%と大きく減少した。飼料・緑肥作物の種子、野菜の種子、普通・特用作物などが主で、34 カ国から 3,720 ト輸入され、その半数近くがアメリカ産である。全体の 4 割を占める飼料・緑肥作物の種子は 1,518 ト輸入され、前年比 53.1%と大きく減少した。

切花、切葉、切枝：前年比 92.7%と減少した。キク 6,835 万本（前年比 109.8%）、カーネーション 1,306 万本（同 54.4%）、オンシジューム 1,447 万本（同 99.3%）、ヒサカキ 10,732 万本（同 85.1%）など、多種類の切花、切葉、切枝が 12 カ国から輸入された。特にベトナム産切花類は 5,480 万本（前年比 130.5%）と大きく増加した。

果実：前年比 96.4%と減少した。全体の約半分を占めるバナナは 220,948 ト（前年比 83.2%）と大きく減少した。専用船積フィリピン産バナナは、産地減産の影響から前年

比 90.3%と大きく減少し、コンテナ船バナナは南米航路の変動によりコンテナ本数は 1,473 本と前年に比べ 1,156 本減少した。オレンジは 31,079 ト（同 181.1%）と特に大きく増加した。

野菜：前年比 100.3%と微増した。31 カ国から輸入され、7 割以上を占める中国産は 252,904 ト（前年比 96.5%）と減少した。野菜全体の約 4 割近くを占めるタマネギが 127,208 ト（同 92.3%）と減少し、特に中国産は 112,288 ト（同 91.7%）、コンテナ本数は 4,529 本と前年に比べ 404 本減少した。アメリカ産ブロッコリは 10,247 ト（同 175.8%）と大きく増加した。

穀類：前年比 116.8%と増加した。28 カ国から 438,170 ト輸入され、6 割が専用船積コムギで 269,205 ト（前年比 125.5%）と増加した。モルトは 12 カ国から輸入されコンテナ本数は 6,206 本と前年に比べ 116 本減少した。

豆類：前年比 92.5%と減少した。24 カ国から 136,253 ト輸入され、9 割以上がダイズで 132,386 ト（前年比 91.6%）、コンテナ本数 6,538 本と前年に比べ 636 本減少した。

嗜好香辛・薬染料・その他食品：前年比 95.5%と減少した。82 カ国から 64,074 ト輸入され、主な減少品目はタバコ 21,994 ト（前年比 90.0%）、コーヒー豆 1,931 ト（同 27.7%）であった。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 112.0%と増加した。乾燥牧草が 433,211 ト（前年比 117.3%）と増加し、主要産地別コンテナ本数はアメリカ 16,407 本（+3,421 本）、カナダ 2,103 本（-362 本）、オーストラリア 115 本（-291 本）とアメリカ産が大きく増加した。その他肥飼料類やピートモスなど園芸資材を含め 54 カ国から輸入された。

木材：前年比 33.5%と大幅に減少した。デンマーク、マレーシアなど 4 カ国から 67m³輸入された。専用船での輸入は 21 年以降途絶えている。

（業務グループ・青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽 植 用 植 物	栽 植 用 球 根	栽 植 用 種 子	切 切 切 花 葉 枝	果 実	野 菜	穀 類	豆 類	嗜 好 香 辛 料 品	薬 料 品	そ の 他 飼 料 雑 品	木 材	* 合 計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m ³)	(千トン)
平成28年	1,013	24,287	3.7	274,640	455	327	438	136	64	550	67	1,974	
平成27年	979	22,872	4.9	296,244	472	326	375	147	67	491	200	1,883	
28/27年 比 (%)	103.5%	106.2%	75.5%	92.7%	96.4%	100.3%	116.8%	92.5%	95.5%	112.0%	33.5%	104.8%	

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

大韓民国の植物検疫事情を視察

この度、(一社)全国植物検疫協会神戸支部主催の「海外植物検疫事情調査研修」に参加した。11月13日から11月18日の6日間、大韓民国での植物検疫事情を視察する機会を得たので、その一端を紹介したい。

釜山新港コンテナヤード：釜山新港は釜山市の約 20 キロ西方に位置し 23 のバースを有している。釜山港が水深 15m で、将来的にコンテナ船の大型化に対応できなくなる問題を解決し、国際競争力を強化する目的で水深 16 メートルから 18 メートルの大水深岸壁を有する港として整備された。釜山港と合わせて 2013 年のコンテナ取扱量は世界第 5 位の 1769 万 TEU で、韓国全体のコンテナ取扱量の 75% を占める。(そのうち釜山新港は 1096 万 TEU) 東京港での同年のコンテナ取扱数が 435 万 TEU であることから規模の大きさを実感できる。

また、釜山港(北港)・釜山新港は韓国最大のコンテナポートであり、取扱貨物の 44% がトランシップ貨物であることからアジアのハブ港として重要拠点となっている。



韓国動植物検疫庁本部：植物検疫部がある本館、広報センター、植物検疫技術センター、隔離検疫施設、動物疾病診断施設、バイオセキュリティ level 3 の実験室などで構成され、本部には植物検疫部、動物疾病管理及び検疫部、動物衛生研究部の三部があり、植物検疫部には植物検疫課、輸入管理課、リスク管理課、植物病害虫防除課の 4 課及び植物検疫センターがあり、植物類を輸入できる港は全国 31 海港、8 空港である。植物防疫所は韓国内に 6 地域事務所(仁川国際空港、釜山、仁川、ソウル、群山、済州)、その下に 22 の支所があり全国をカバー

している。

韓国では 2000 年から 2015 年の間に、貨物輸入が 11 万 5 千件から 82 万 5 千件に、旅客は 2,100 万人から 6,600 万人に増加し、これに伴い植物検疫件数も増加している。また、2011 年から 2015 年の間にマツノマダラカミキリ、火傷病など輸入禁止対象の 3 種を含む、15 種の病害虫の侵入が確認されており、貿易の増加に伴う侵入機会の増加や、地球温暖化による害虫分布の変化を警戒している。



植物検疫技術センター：韓国動植物検疫庁本部の敷地内にあり、職員 25 名配置されている。(うち専門官 13 名、管理、病理、害虫、消毒担当にそれぞれ 3 名ずつ配置)

この施設での研究開発項目として、病害虫の生態、外国での事例を踏まえたハイリスク病害虫の侵入、発生予察、発生調査方法の確立、臭化メチル・青酸に替わるくん蒸剤の実用化等がある。

特にくん蒸剤については 2016 年 6 月からギ酸エチルの使用を開始し臭化メチルの使用量を 20~30% 削減。現在はギ酸エチルとホスフィン混合剤による殺虫技術を開発中とのことであった。

終わりに：今回の視察では紹介した場所以外にも多くの施設・農業現場を訪問することができ、大韓民国の植物検疫や輸入輸出の現状を広く知ることが出来大変有意義な時間となった。なかでも大韓民国の植物検疫の現場を直接見学させていただけた事は大変貴重な体験であった。

今回の調査視察旅行でお世話いただいた主催者並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

(業務グループ 田地 龍之)

会員の異動 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

☆入会会員

2 月 15 日	(株)ネクストインターナショナル	[商社]	〒135-0064	江東区青海4-2-22	☎ 03 (3527) 7093
3 月 1 日	首 舜	(株) [商社]	〒650-0004	神戸市中央区中山手通4-1-14	☎ 078 (381) 5656
3 月 1 日	(株) 丸 山 運 送	[運輸]	〒108-0023	港区芝浦3-14-15	☎ 03 (5439) 6921

☆退会会員

3 月 31 日 中東貿易(株)、(株)晴佳インターナショナル、(株)和郷、(株)綿半ホームエイド、菅沼運輸(株)、(株)韓進海運東京青海コンテナターミナル

👁️ タイム eye 📷

業務グループ ホンジュラス産メロン初輸入

1月15日、大井埠頭に入港した“SAN FRANCISCO BRIDGE”号でホンジュラス産カンタロップメロン生果実が東京港に初輸入され、検査は無事合格であった。

今までホンジュラスはチチュウカイミバエ発生国であり、ウリ科植物の生果実は輸入禁止対象であった。昨年5月24日、4回目の「輸入植物検疫制度の見直し（4次改正）」により、関係省令の改正が行われた。植物防疫法施行規則改正の「輸入禁止の対象とする地域及び植物の見直し」により、チチュウカイミバエの寄主植物として輸入が禁止されていたウリ科植物の生果実は、全てのウリ科に含まれる植物が寄主ではないことが判明したため、以下の4種を除くウリ科の生果実が対象植物から除外され、メロン、スイカなどの生果実が、チチュウカイミバエ発生国から輸入が可能となった。

チチュウカイミバエ寄主ウリ科植物対象4種類

「ククミス・ディプサケウス」

「コッキニア・マイクロフィラ」

「コラロカルプス・エリプチクス」

「にがうり」



今回輸入されたカンタロップメロンは、ヨーロッパ南部、北米などで露地栽培されている赤肉種のマスクメロンで、赤肉種といえば夕張メロンが有名だが、夕張メロンより果肉が固いので、日本ではイタリアレストランなどで生ハムと一緒にいただく「生ハムメロン」が主流である。果肉の硬さと程よい甘さが、生ハムと絶妙にマッチする。また、栄養素も豊富で特に「ビタミンC」はリンゴの約3倍もあるとも言われている。

去年、某有名コーヒーチェーン店では、カンタロップメロンを使った商品が期間限定で発売され、一躍注目の的となった。輸入されるメロンとしてはメキシコ産やアメリカ産の網目の無いハネジューメロンが中心であるが、網目のあるメロンは日本人にも馴染みがあるので、今後の輸入動向に注目したい。

(小林 優修)

業務グループ ベトナム産ヒロセレウス・ウンダーツスとヒロセレウス・コスタリケンシスとの交雑種（赤肉種）生果実が初輸入

3月16日、大井埠頭に入港した“ACX DIAMOND”号でベトナム産ヒロセレウス・ウンダーツスとヒロセレウス・コスタリケンシス（赤肉種）との交雑種の生果実が東京港に初輸入され、検査は無事合格であった。

今年1月16日付で平成21年10月に条件付きで輸入解禁されたベトナム産ヒロセレウス・ウンダーツス生果実に関する告示及び植物検疫実施細則が一部改正され、同品種とヒロセレウス・コスタリケンシス（赤肉種）との交雑種が追加された。ベトナムにおいてはミカンコミバエ種群及びウリミバエが発生しているため、その寄主植物となる同国産ヒロセレウス属生果実は、植物防疫法の規定に基づき輸入が禁止されている。

主な輸入条件は、蒸熱処理施設で飽和蒸気により、生果実の中心部を一定の上昇率で摂氏43℃まで上げ、引き続き当該中心部が摂氏46.5℃に達した後、その温度以上で40分間消毒することとされる。



ヒロセレウス属植物の果実は、英名で「ピタヤ」、果皮が竜のウロコのように見えることから、通称「ドラゴンフルーツ」と呼ばれている。

今回輸入された赤肉種のヒロセレウス・ウンダーツスとヒロセレウス・コスタリケンシス交雑種は、白肉種のヒロセレウス・ウンダーツスと外見では見分けが付きにくい、糖度も高く、半分に切って果肉を見ると鮮やかな赤紫色。抗酸化物質が豊富で、ベタシアニンというポリフェノールの一種が多く含まれ、強い抗酸化作用を持ち、がんを抑制する働きがあるとも言われている。

(青島 英夫)

東京植物検疫協会事務局人事

○2月13日付

退職

原 友昭（次長）

○4月1日付

次長(兼)総務グループ長(兼)総務課長

佐藤 勉（総務グループ長(兼)総務課長）

業務グループ主任

有働 昌平（業務グループ）

東京港輸入植物品目別統計表

(平成 29年 1月 - 2月累計)

品 目	単 位	コ ン テ ナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	5	84,122	0	0	0	84,122	0
栽植用球根類	個	20	2,385,149	2,120	0	0	2,385,149	2,120
アマリリス	"	8	78,684	0	0	0	78,684	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	10	2,096,100	0	0	0	2,096,100	0
栽植用種子	kg	50	440,623	1,000	0	0	440,623	1,000
草花・樹木	"	0	241	0	0	0	241	0
野菜	"	26	96,943	1,000	0	0	96,943	1,000
普通・特用作物	"	9	112,439	0	0	0	112,439	0
牧草・芝草	"	14	228,278	0	0	0	228,278	0
切花、切葉、切枝	個	278	42,643,026	2,205,665	0	0	42,643,026	2,205,665
アンズリューム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	43	2,390,090	222,270	0	0	2,390,090	222,270
キク	"	125	9,966,075	898,455	0	0	9,966,075	898,455
シダ(レザーフアン)	"	31	6,761,580	4,600	0	0	6,761,580	4,600
果 実	kg	1,895	34,412,380	2,567,820	32,880,020	28,209,755	67,292,400	30,777,575
オレンジ	"	261	4,471,798	0	0	0	4,471,798	0
グレープフルーツ	"	306	6,520,663	240,109	0	0	6,520,663	240,109
タンジェロ(ミネオラ)	"	30	697,976	0	0	0	697,976	0
レモン	"	205	3,568,716	0	0	0	3,568,716	0
パインアップル	"	108	2,052,744	411,451	3,516,157	2,970,978	5,568,901	3,382,429
バナナ	"	207	3,661,947	1,035,887	29,352,344	25,238,777	33,014,291	26,274,664
マンゴウ	"	7	96,024	0	420	0	96,444	0
キーウイフルーツ	"	35	551,931	13,063	0	0	551,931	13,063
ブドウ	"	113	1,939,040	0	0	0	1,939,040	0
野 菜	kg	2,713	50,246,571	752,550	68	0	50,246,639	752,550
カボチャ	"	124	2,872,348	495,320	0	0	2,872,348	495,320
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	5	30,432	3,200	0	0	30,432	3,200
パプリカ	"	22	120,525	4,500	0	0	120,525	4,500
メロン(ハミウリ含む)	"	9	142,200	0	0	0	142,200	0
キャベツ	"	180	3,586,527	17,575	0	0	3,586,527	17,575
セロリ	"	33	466,165	18,824	0	0	466,165	18,824
ナガネギ	"	254	3,675,740	35,285	0	0	3,675,740	35,285
ニンニクの芽	"	10	240,910	0	0	0	240,910	0
ハクサイ	"	8	149,670	18,000	0	0	149,670	18,000
ブロッコリー	"	175	1,559,492	15,901	0	0	1,559,492	15,901
レタス	"	217	2,447,080	15,860	0	0	2,447,080	15,860
タマネギ	"	732	18,092,380	65,100	0	0	18,092,380	65,100
ニンニク	"	92	1,443,981	0	0	0	1,443,981	0
アスパラガス	"	6	64,921	0	0	0	64,921	0
ゴボウ	"	50	1,341,138	11,900	0	0	1,341,138	11,900
サトイモ	"	8	131,000	0	0	0	131,000	0
ショウガ	"	76	1,651,625	0	0	0	1,651,625	0
ニンジン	"	197	4,983,786	0	0	0	4,983,786	0
こく類	kg	1,051	21,794,688	0	27,881,814	0	49,676,502	0
オオムギ	"	1	927	0	0	0	927	0
エンバク	"	47	980,822	0	0	0	980,822	0
コムギ	"	18	315,456	0	27,881,814	0	28,197,270	0
コメ	"	147	2,770,738	0	0	0	2,770,738	0
ソバ	"	3	57,357	0	0	0	57,357	0
トウモロコシ	"	31	540,200	0	0	0	540,200	0
モルト	"	783	16,748,060	0	0	0	16,748,060	0
まめ類	kg	1,111	22,276,993	0	0	0	22,276,993	0
エンドウ	"	3	69,089	0	0	0	69,089	0
ダイズ	"	1,036	20,904,108	0	0	0	20,904,108	0
ラッカセイ	"	28	550,609	0	0	0	550,609	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	719	10,967,476	0	0	0	10,967,476	0
カカオ	"	3	25,677	0	0	0	25,677	0
コーヒー	"	15	195,907	0	0	0	195,907	0
タバコ	"	193	3,544,230	0	0	0	3,544,230	0
アーモンド	"	163	2,662,290	0	0	0	2,662,290	0
クリ	"	4	27,705	0	0	0	27,705	0
クルミ	"	138	2,001,934	0	0	0	2,001,934	0
ポップコーン	"	55	1,100,799	0	0	0	1,100,799	0
油料、肥料、その他雑品	kg	4,220	94,478,102	0	0	0	94,478,102	0
乾燥牧草(ヘイ)	"	3,182	73,498,922	0	0	0	73,498,922	0
アニマルフィード	"	4	50,297	0	0	0	50,297	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	173	4,443,953	0	0	0	4,443,953	0
コーンコブミール	"	1	25,200	0	0	0	25,200	0
飼料用大豆カス,ペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
ビートパルプペレット	"	0	0	0	0	0	0	0
イネワラ	"	5	87,470	0	0	0	87,470	0
ココピート	"	72	1,352,270	0	0	0	1,352,270	0
ココヤシ園芸資材	"	42	850,063	0	0	0	850,063	0
ビートモス	"	193	4,146,432	0	0	0	4,146,432	0
ミズゴケ	"	10	27,332	0	0	0	27,332	0
タケ	"	25	401,706	0	0	0	401,706	0
木 材	m³	6	96	0	0	0	96	0
** 総 合 計 **	kg	11,759	234,616,833	3,321,370	60,761,902	28,209,755	295,378,735	31,531,125
	個	303	45,112,297	2,207,785	0	0	45,112,297	2,207,785
	m³	6	96	0	0	0	96	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。